

第1回 県立高等学校改革懇談会 『福島西・福島北』

日時：令和4年8月4日（木） 14:30～16:00

場所：福島西高等学校 生徒ホール

福島県教育委員会

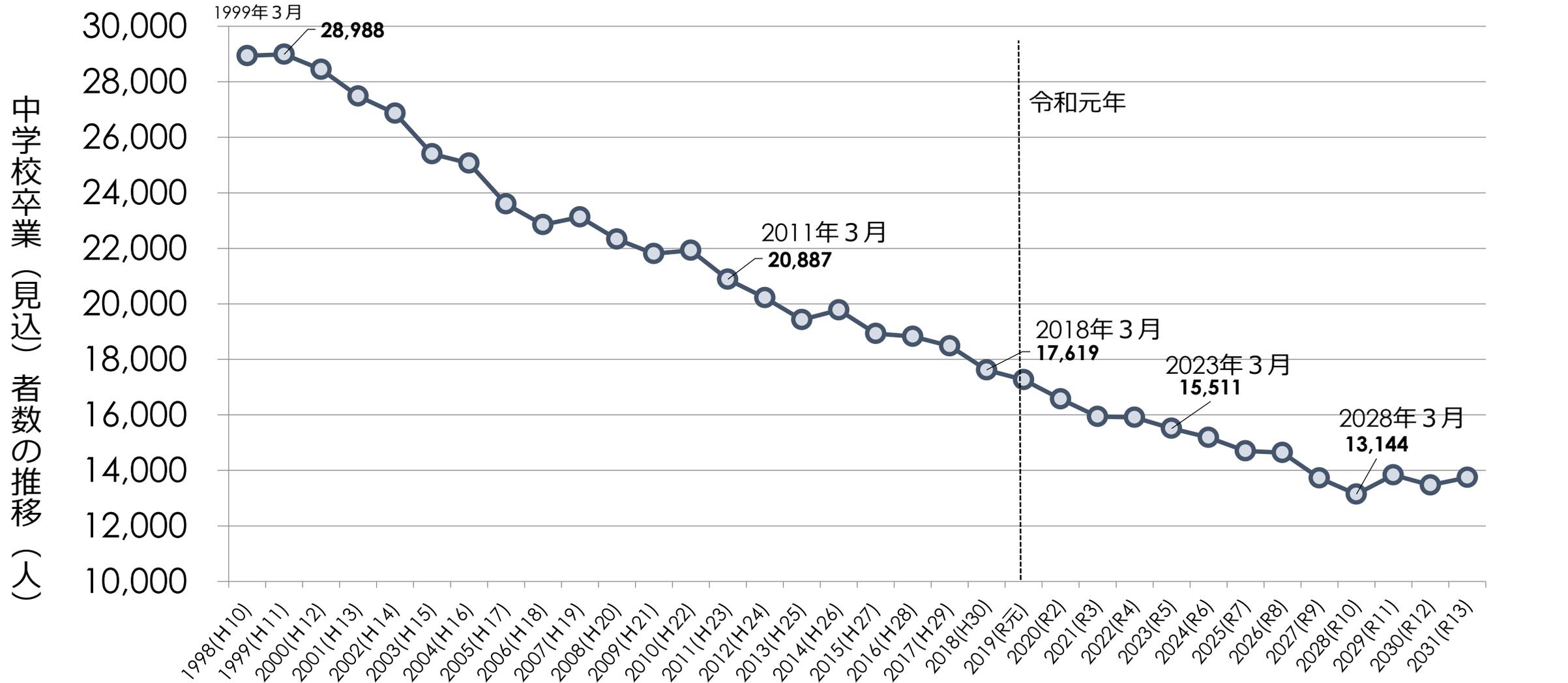
本日の内容

1	県立高等学校改革基本計画及び後期実施計画策定の経緯
2	県北地区及び福島市内の中学校卒業見込者数の推移と福島西高校・福島北高校の入学状況
3	今後の再編整備

1

県立高等学校改革基本計画及び 後期実施計画策定の経緯

少子化の進行（中学校卒業見込者数の減少）

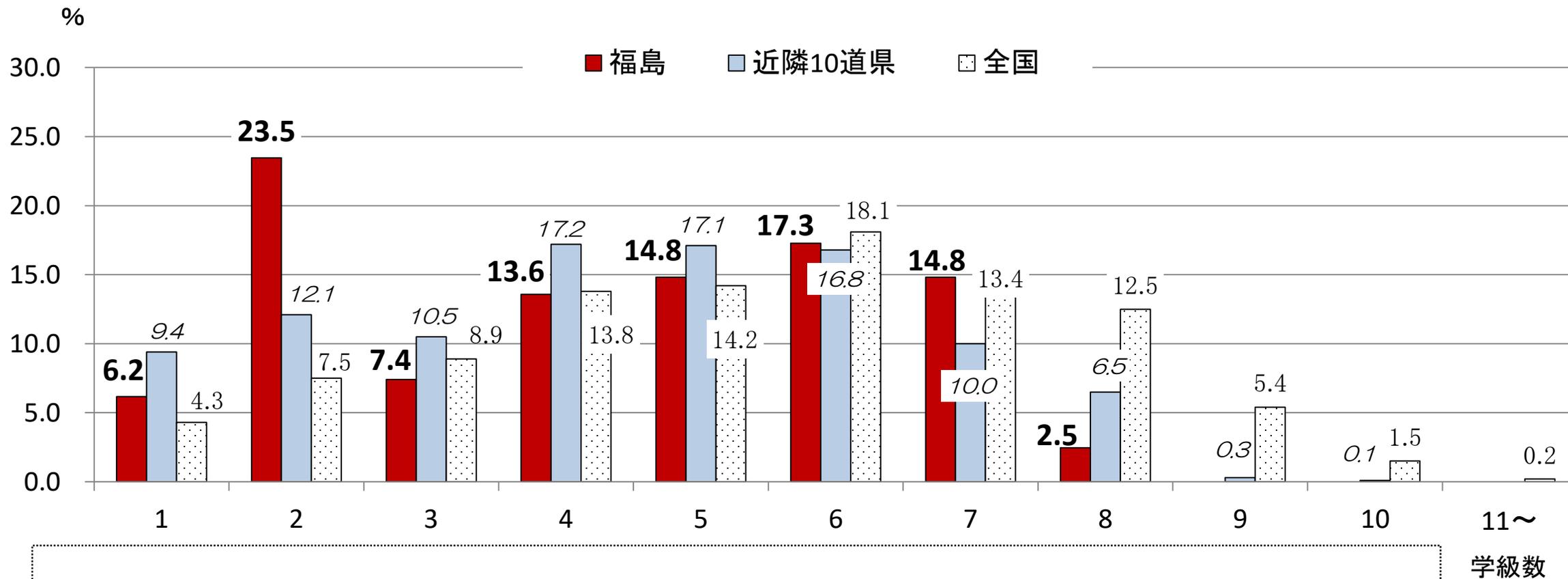


出典：2017年（平成29年）までは福島県企画調整部統計課編各年度の「学校基本統計（学校基本調査報告書）」から作成。
 2018年（平成30年）3月～2026年3月までは同調査における各学年の在籍者数をもとに作成。
 2027年3月以降は同課提供「福島県の推計人口」（2017年4月1日現在）の各年齢別のデータをもとに作成。

（年3月卒業）

県立高等学校の小規模校化

1学年当たりの学級数で見た学校規模の比較（福島県・近隣10道県・全国）



出典・「平成30年度全国公立高等学校第1学年定員等状況」(富山県教育委員会調べ)をもとに作成。
分校を含む2018年度（平成30年度）都道府県立高等学校全日制課程の募集定員。近隣
10道県は、北海道、本県を除く東北5県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県。

本県の高等学校教育を取り巻く様々な動き

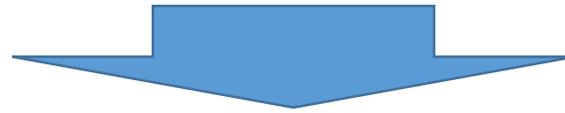
本県をめぐる社会情勢の変化

- 人口の減少・**少子化のさらなる進行**（中学校卒業予定者が10年間で約5,300名減少）
- 過疎化・高齡化（地域コミュニティの維持が課題）
- 高等学校教育を取り巻く状況の変化（主権者教育の重要性、大学入学共通テストの導入）
- **高等学校の小規模化**（3学級規模以下の高校の増加）
- 生徒の学習ニーズの多様化（学ぶ意欲や目的意識、興味、関心、進路指導の多様化）
- 東日本大震災と原子力災害からの復興・再生
（本県の復興に携わりたいという思いの芽生え、福島イノベーション・コースト構想の推進）

高等学校改革が必要

県立高等学校改革計画「**第一次まとめ**」(平成9年)・「**第二次まとめ**」(平成11年)

福島県学校教育審議会 2017年(平成29年度) 答申
「社会の変化に対応した今後の県立高等学校の在り方について」



県立高等学校改革基本計画の策定 平成30年 5月
(令和元年度～令和10年度) 10年間

県立高等学校改革**前期**実施計画 (令和元年度～令和5年度) 5年間

県立高等学校改革**後期**実施計画 (令和6年度～令和10年度) 5年間

県立高等学校改革の基本方針

基本理念

「本県の未来を切り拓くチャレンジ精神を持った人づくりを推進すること」

【4つの基本方針】

基本方針 1 社会の変化に的確に対応できる生き抜く力を育む
高等学校教育の推進

基本方針 2 多様な学習内容の確保及び教育の質の向上

基本方針 3 学校の再編整備・特色化による教育活動の魅力化

基本方針 4 過疎・中山間地域の学習機会の確保と教育環境の
向上

再編整備・魅力化の基本的な考え方①

○ 学ぶ意欲を引き出す望ましい学校規模

1学年4～6学級

1学年3学級以下の高等学校については、学校の魅力化を図りながら都市部も含めて統合を推進

○ 望ましい学校規模への再編整備の推進

同一市町内や隣接する市町にある複数の学校のいずれかもしくは双方の学校が望ましい学校規模を維持できない場合に統合を推進
望ましい学校規模の中で可能となる魅力化の推進

再編整備・魅力化の基本的な考え方②

- 進路希望に応じた特色ある高等学校の配置
- 社会の変化に対応した学科の適切な配置
- きめ細かな指導が可能となる教育環境の整備
- 学校の特色化と情報発信

6つの学校群

進学指導拠点校

進学指導重点校

キャリア指導推進校

地域協働推進校

職業教育推進校

定時制・通信制高校

前期実施計画の進捗

再編整備等

学校名	実施年度	統合校名/再編等の方向性 (学科・学級数)
安積・御館校	R2	募集停止
修明・鮫川校	R2	
川俣	R2	1学級本校化
猪苗代	R2	
只見	R2	
喜多方	R3	喜多方 普通・5
喜多方東		
小名浜	R3	小名浜海星 普通・1 商業・1 水産・3
いわき海星		

学校名	実施年度	統合校名/再編等の方向性 (学科・学級数)
須賀川	R4	須賀川創英館 普通・6
長沼		
大沼	R4	会津西陵 普通・4
坂下		
湯本	R4	いわき湯本 普通・6
遠野		
相馬東	R4	相馬総合 総合・5
新地		
保原(定時制)	R4	ふくしま新世 普通・1
福島中央		

学校名	実施年度	統合校名/再編等の方向性 (学科・学級数)
梁川	R5	伊達 普通・6
保原		
二本松工業	R5	二本松実業 工業・3、家庭・1
安達東		
白河実業	R5	白河実業 工業・5、商業・1
塙工業		
修明	R5	農業科の集約 文理・1、農業・3、 商業・1
耶麻農業	R5	会津農林 農業・4
会津農林		
田島	R5	南会津 総合・3
南会津		

特色化・魅力化の取組状況

- 単位制を5校に導入
- 教育プログラムとしてのコース制を18校に導入
- コミュニティ・スクールを6校に導入
- 地域コーディネーターを3校に配置
- 統合校と1学年1学級規模の本校に優先的にICT機器を配置

再編整備（統合）による期待される効果及び 前期統合校の成果

○一定の集団規模を確保した望ましい学校規模の中で、生徒どうしが切磋琢磨しながら向上心を高め、人間性を育むことができる。

○探究的な学びや他学科との連携など、新たな取組みをとおしてより深い学びが実践できる。

(例)地域を学びのフィールドとした地域探究型学習が進んでいる。

○喜多方高校の国際交流と地域貢献を融合させた地域探究型学習

○望ましい学校規模とすることによって、教員数が確保され多様な選択科目や部活動からの選択が可能となる。

(例)防災教育の導入や主権者教育の学校設定科目の新設がされている。

(例)コース制の導入や、選択科目の増加により生徒の選択肢が増えている。

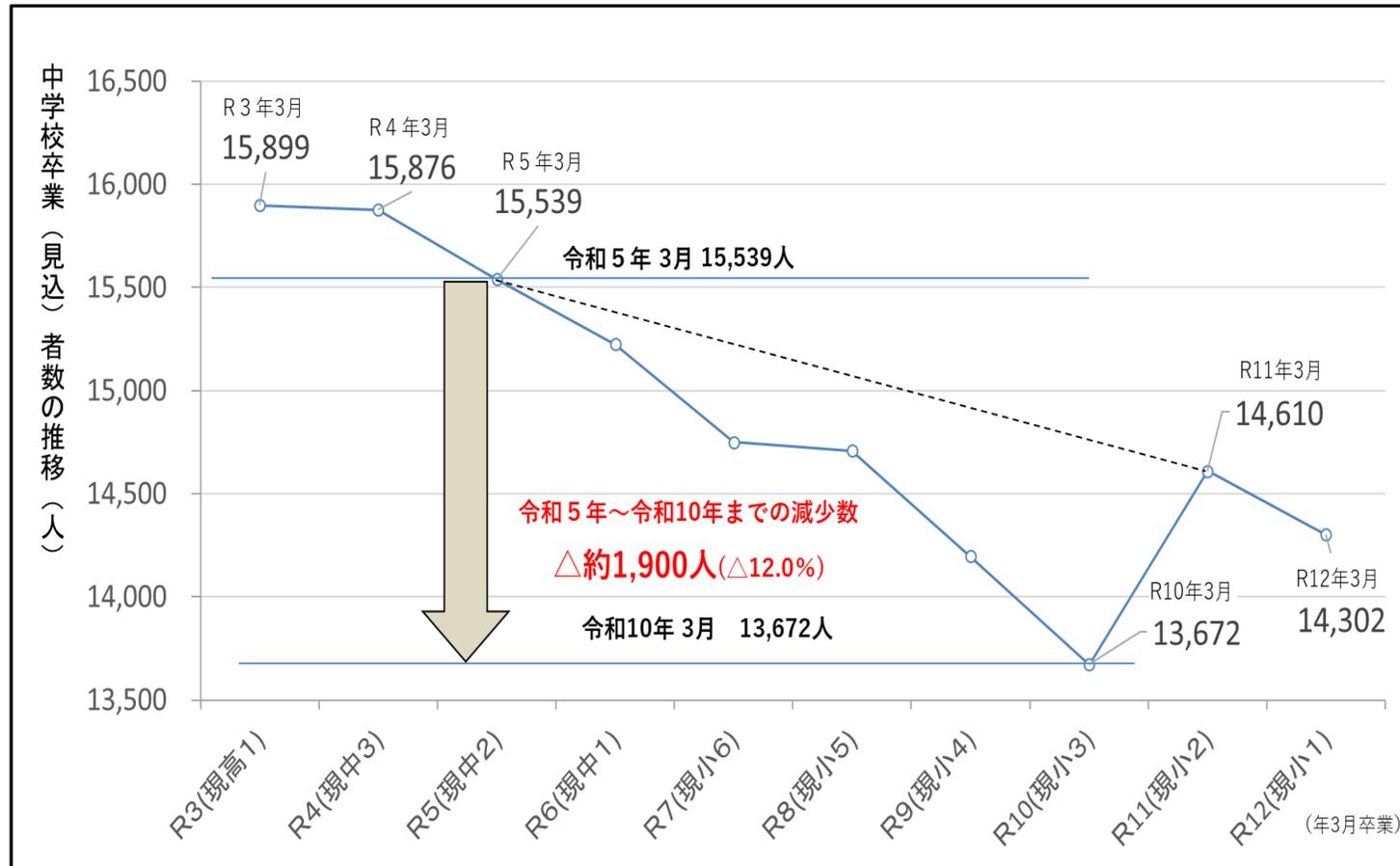
○設備の改修による学習環境の整備

(例)少人数指導用の教室が確保され、活用されている。

後期実施計画の内容

さらなる少子化の進行

- 令和12年3月までの中学校卒業見込者数の推移（全県）

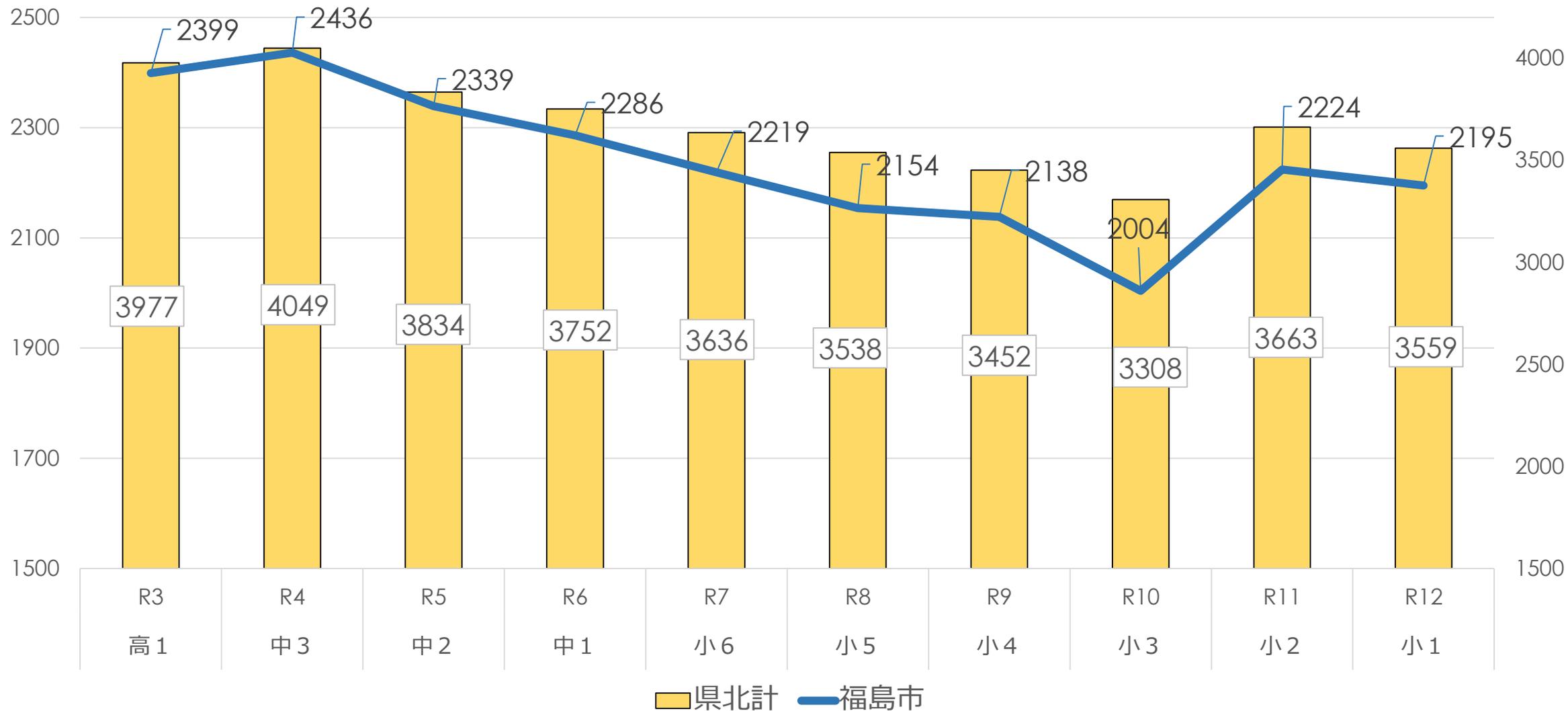


出典：令和3年3月は福島県企画調整部統計課編各年度の「学校基本統計（学校基本調査報告書）」から作成。
令和4年3月～令和12年3月までは同「学校基本統計（学校基本調査報告書）」における各学年の在籍者をもとに作成。

2

県北地区と福島市内の中学校卒業見込者数の推移と福島西高校・福島北高校の入学状況

県北地区及び福島市内の中学校卒業見込み者数の推移



福島西高校の入学状況と充足率の推移

年度	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4
募集定員	280					240			200	
入学者数	272	280	280	280	280	238	239	228	200	200
充足率%	97.1	100	100	100	100	99.2	99.6	95	100	100

福島北高校の入学状況と充足率の推移

年度	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4
募集定員	200				160					
入学者数	200	200	200	200	161	154	160	140	113	130
充足率%	100	100	100	100	100	96.3	100	87.5	70.6	81.3

3

今後の再編整備

学校の沿革概要等

福島西高校

○ 沿革（創立59周年）

- 昭和38年4月 福島県立福島西女子高等学校として開設
- 平成7年4月 福島県立福島西高等学校と校名変更
男女共学化 1学年普通科270名
数理科学科40名 デザイン科学科40名
- 平成25年9月 創立50周年記念式典
- 令和3年4月 1学年普通科160名 デザイン科学科40名

○ 設置学科（令和4年度現在）

全日制 1・2学年各5学級 3学年6学級 計16学級
・普通科 4学級 ・デザイン科学科 1学級
(3学年 普通科5学級 デザイン科学科1学級)

○ 面積 校地面積 30,819m²
校舎 16,752m² 運動場 12,080m²

福島北高校

○ 沿革（創立74周年）

- 昭和23年4月 福島県立信夫高等学校飯坂分校として開校
- 昭和49年4月 福島県立福島北高等学校と校名変更
- 平成13年4月 総合学科に学科改編
総合学科7学級 280名
- 平成29年4月 1学年総合学科160名
- 平成30年11月 創立70周年記念式典

○ 設置学科（令和4年度現在）

全日制 1学年4学級 計12学級
・総合学科 4学級
4系列 文理総合系列 生活総合系列
情報ビジネス系列 教養文化系列

○ 面積 用地総面積 51,846m²
校舎 18,939m² 運動場 32,525m²

進路状況（過去3年間）

【福島西高校】

進路先	大学	短大	専修・各種 専門学校等	就職	その他	合計
卒業年度						
R元	1 7 7	1 6	5 3	7	1 7	2 7 0
R 2	1 4 9	2 4	4 1	3	1 9	2 3 6
R 3	1 4 1	2 4	5 1	7	9	2 3 2

【福島北高校】

進路先	大学	短大	専修・各種 専門学校等	就職	その他	合計
卒業年度						
R元	2 0	2 4	4 8	6 2	1	1 5 5
R 2	2 2	2 6	4 9	4 3	4	1 4 4
R 3	1 7	2 5	4 7	5 8	2	1 4 9

部活動

【福島西高校】

• 運動部

陸上 ソフトボール バレーボール
バスケットボール ソフトテニス
野球 バドミントン 卓球 弓道
サッカー 剣道 体操 ハンドボール

• 文化部

科学 写真 文芸 美術 書道 合唱
茶華道 将棋（囲碁） 吹奏楽同好会
新聞委員会

【福島北高校】

• 運動部

ソフトボール バレーボール
硬式テニス 野球 バドミントン
卓球 バスケットボール 柔道
弓道 ハンドボール

• 文化部

吹奏楽 ESS 華道 演劇 合唱
美術 JRC 写真 茶道 書道同好会
家庭クラブ

* __の部活動は両校に共通の部活動です。

統合校の概要

福島西高校

定員200名

○普通科(4学級)

○デザイン科学科(1学級)

福島北高校

定員160名

○総合学科(4学級)

令和9年4月開校予定 福島西・福島北統合高校（仮称）

定員：探究科（仮称）（1学級）

デザイン科学科（1学級） 総合学科（4学級）

場所：福島西高校校舎

統合校の方向性

福島西・福島北統合高等学校（仮）

各分野のリーダーとして活躍し、社会の発展に貢献する人材を育成する学校として、進学指導重点校に位置づけられます。新設する「探究科（仮称）」については、探究型学習を充実させ、高い進路目標の実現を目指します。

- 福島西の取組を継承する「デザイン科学科」については、国内有数の美術系学科としての特色ある教育活動を実践します。
- 福島北が取り組んでいる総合学科の特色を生かし、様々な分野への進路希望を実現します。

検討する統合校の特色化

主体的・対話的な深い学びの実現

STEAM教育

デザイン科
学科の学び

探究科（仮称）
の学び

魅力ある科目群
（系列）の学び

大学・地域・自
治体等との連携

STEAM教育 ○ Science ○ Technology ○ Engineering ○ Art ○ Mathematics

科学、技術、工学、哲学・芸術・歴史などの教養（リベラルアーツ）、数学の諸領域・各教科等を横断しながら、実社会での課題発見・解決に必要な本質を見抜き考える力や新たな価値を生み出す創造力等を育む教育

今後の予定

会議等のスケジュール

第2回改革懇談会 秋以降

(以降必要に応じて開催)

今後必要となる組織

改革懇談会でいただいた御意見を具現化するための組織

- 教育内容検討委員会（両校の教職員で構成される検討委員会）
- ワーキンググループ（各校の校内検討委員会）